



令和3年8月11日  
経済局産業連携推進課  
(公財)木原記念横浜生命科学振興財団



## 2021年度 LIP. 横浜トライアル助成金 二次募集の交付対象事業(4事業)が決定しました

「LIP. 横浜トライアル助成金」は、健康・医療分野において、新製品や新技術の事業化を目指し、研究成果やアイデア等を具体化する試作品の開発などに活用いただける助成金です。

この度、中小企業を支援するため、デジタルヘルスをはじめとした4事業(交付予定額400万円)を二次募集の交付対象事業として決定しました。

今後、LIP. 横浜の会員などとのマッチングや販路開拓により、中小企業の支援を積極的に進め、イノベーション都市・横浜の実現につなげてまいります。

(※)本事業は、(公財)木原記念横浜生命科学振興財団が横浜市経済局の補助金を受けて運営する事業です。

### 【交付対象事業】

事業名	ウェアラブル深部温センサの高精度化 <span style="float: right;">【デジタルヘルスに関連した事業】</span>				
事業内容	感染症罹患判断には体内の温度(深部温)を正確に測定することが重要である。感染症罹患の早期発見や自宅待機者の重症化モニタリングへの活用を目指し、深部温や心拍、呼吸等を高精度で自動的に計測可能なウェアラブル多機能生体センサの開発を行う。				
申請者	アフォードセンス株式会社(神奈川区)	共同研究先	横浜市立大学	交付予定額	100万円
事業名	新規抗がん薬、JPH203の薬効予測システムの開発				
事業内容	個別化医療実現の第一歩のため、抗がん剤投与前後に、腫瘍から血液に放出される特異的なmRNAを定量することで、一人一人に合わせた薬物の用法用量を検討できる、新たな薬効評価システムを開発する。				
申請者	ジェイファーマ株式会社(鶴見区)	共同研究先	千葉大学	交付予定額	100万円
事業名	靴の影響による足の変形シミュレーションモデルの構築				
事業内容	足に合わない靴の着用は外反母趾等のトラブルの原因となり健康を損なう。足の骨や筋肉への影響に対する定量的な指標に基づく適切な靴選びを支援するため、靴の着用による痛みと不可逆的変形のシミュレーションソフトウェアを開発する。				
申請者	ビネット&クラリティ合同会社(神奈川区)	共同研究先	—	交付予定額	100万円
事業名	癌治療を目的とした新規モノクローナル抗体の研究開発				
事業内容	バクテリオファージの表面にペプチドやタンパク質を提示するファージディスプレイ技術を活用して、独自に高品質抗体ライブラリーを確立した。これを用いて、ヒト急性骨髄性白血病の治療を目的として、白血病幹細胞に特異的に発現するGタンパク質共役受容体に対する高品質・高機能性抗体を取得する。				
申請者	MabGenesis株式会社(港北区)	共同研究先	宮崎大学	交付予定額	100万円

※ 事業名は申請書の内容に基づいて掲載しています。共同研究先は見込みも含まれます。また、正式名称は一部省略しています。

※ カテゴリごとの掲載順については、申請者名の五十音順としています。

裏面あり

## デジタルヘルスケアサポート拠点

デジタルヘルスケア分野での新技術・新製品の開発を支援する拠点を令和3年4月1日に開設しました。この拠点では、IoT分野のI・TOP横浜と健康・医療分野のLIP横浜の2つのプラットフォームのネットワークを活用して、横浜企業経営支援財団、木原記念横浜生命科学振興財団、横浜市が、スタートアップや中小企業の製品化に向けた支援や新たなビジネス創出の支援を行います。

### ■場所

横浜市中区尾上町1-6 ICON 関内 YOXO BOX OFFICE08

### ■利用対象者

デジタルヘルスケア分野に関連する新技術や新製品の開発を目指すスタートアップ、中小企業、大学・研究機関など

### ■主な支援内容

- ・相談対応・伴走支援、マッチング支援、展示会出展などの販路開拓支援
- ・論文や調査レポートなどの閲覧
- ・デジタルヘルスケア分野を含むヘルスケア分野参入セミナーなどのイベント開催

### ■利用方法

- ・利用は無料です。お問合せ先にメールにて事前に予約してください。

### ■お問合せ先

横浜市経済局産業連携推進課ヘルスケアビジネス担当  
ke-healthcare@city.yokohama.jp

※支援内容や利用方法等については、順次、アップデートしていく予定です。



## イノベーション都市・横浜

横浜市は、平成31年1月に、研究者・技術者、起業家、学生などの人材が、組織を超えて交流し、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。「ヨコハマ・クロスオーバー（YOXO）」を旗印として、みなとみらい21地区の研究開発拠点や、関内地区のスタートアップなど、市内各地でイノベーション人材の交流を広げ、産学官で新事業の創出・育成に取り組んでいます。

また、I・TOP横浜とLIP横浜の2つのオープンイノベーションを推進するプラットフォームを相互に連携させることで、市内企業のIoT及びライフイノベーションの取組を促進しています。



### お問合せ先

(LIP横浜に関する事)	経済局産業連携推進課長	近藤 陽介	TEL : 045-671-2574
(助成事業に関する事)	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団事務局長	岩船 広	TEL : 045-502-4810

※本件は、横浜経済記者クラブにも配付しております。